

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	11 月	22 日	記入者	久門たつお
調査者名	饗庭	久門	鶴田		

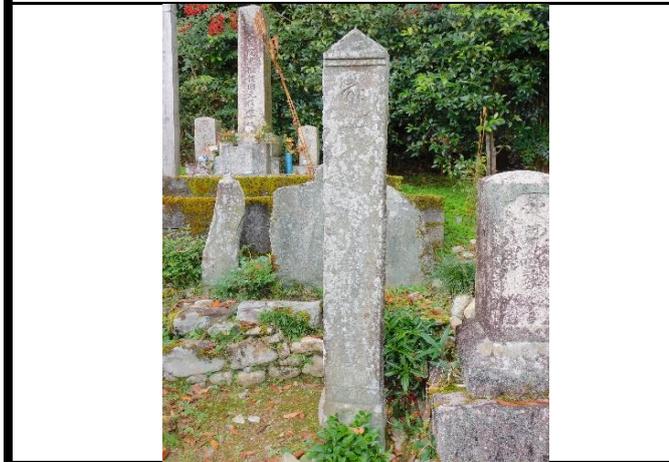
文化財名	六斎念仏供養板碑				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input checked="" type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1991年(平成3)3月8日				
所在地	五條市畑田町36、西福寺				
所有者 管理者	西福寺 (地区は10戸で、檀家総代を中心に管理している。)				
員数	.1基				
時代区分	室町時代中期 1490年(延徳2)				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	なし				
公開	西福寺墓地にあり、立ち入り可能だが、近くに住む檀家総代に声掛けが礼儀であろう。				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input checked="" type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 (500年以上経過し、刻まれた文字の多くが読み取り困難になっている。)				
当面の課題	特にない。				
今後の課題	墓地にある「六斎念仏供養板碑」に加え、本堂近くには燈籠に似た外観の五條市指定建造物「地藏六面石どう」=1511年(永正8)制作=もあり、両方合わせた説明板の設置を望みたい。				
その他 (由緒など)	板碑は緑泥片岩製で、高さ約160cm、幅は正面が約20cm、横が約10cm。最上部は山形で、正面上部には蓮華座の上に月輪が彫られ、月輪内に阿弥陀如来を意味する梵字を陽刻している。その下側には縦書きで「六斎念佛供養」「延徳二年九月十五日」、さらに計約50名の法名・俗名が7段で彫られている。最下部には単弁の蓮華座がある。				
コメント	畑田地区では盆や葬式の際に、この板碑前で六斎念仏が唱えられ、先祖やその年に亡くなった人の霊を弔っていたと思われる。檀家総代は「いつごろまでその風習が続いたかは知らない」と話す。地区は現在10戸で、住民たちは盆や春・秋の彼岸に墓掃除に合わせて板碑周囲を清掃しているという。県文化財保存課によると、県内ではかつては60カ所以上で六斎念仏が伝わっていたが、ほとんどが途絶えた。この板碑を目の前にすると、地域共同体や宗教意識の変貌、時代の流れを感じざるを得ない。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	11 月	22 日	記入者	久門たつお
調査者名	饗庭	久門	鶴田		

文化財名	六斎念仏供養板碑
------	----------

西福寺墓地にある「六斎念仏供養板碑」の正面	「六斎念仏供養板碑」の裏側
-----------------------	---------------



正面には梵字や多数の文字が彫られている

上部の「六斎念佛」の文字(左)と最下部の蓮華座



西福寺本堂と墓地(右中央)

右端が五條市指定建造物「地蔵六面石どう」

